

【監修】陳 科榮 東京都済生会中央病院皮膚科部長
慶應義塾大学医学部皮膚科教室 兼任講師



子どもの水虫は、大人の責任。
じっくりきちんと治療しましょう。

食品にカビのはえやすいこの季節は、皮膚に寄生するカビも活発になります。人の皮膚を好むカビ(真菌)の名は「白癬菌」。足に真菌が住みつくと、水虫、つまり「足白癬」が起こります。足白癬というと「足指の間がジメジメしてかゆい」「足指の側面や足の裏に小さな水ぶくれができる」というイメージがありますが、実はかゆくないタイプもあるのです。真菌が爪のなかで寄生する「爪白癬」や、かかとや足の裏の皮が硬く厚くなって白くひび割れる「角質増殖型足白癬」がそれ。ジメジメせず、慢性化して季節に関係なく、かゆくもありません。それでも真菌は生きていますから、お子さんや家族など、周囲の人に感染する可能性があります。

小さい子どもの水虫の多くは、家庭内感染と言われています。長ければ300日も生き続けるという真菌。ご家族に感染させないためにも、医師の指示通りきちんとお薬を続けて、しっかり退治してください。

家族の健康を守る、大切な処方薬。

水虫には塗り薬だけでなく、飲み薬による治療もあります。

医師、薬剤師にご相談ください。

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合ったジェネリック医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

TAKATA
安心品質 安定供給 安全情報

「タカタ」のジェネリック医薬品には、
3つのAがあります。

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

〒331-8588 埼玉県さいたま市西区宮前町203-1
TEL:048-622-2626【代表】